
ラベンダー あなたを待っています

鈴代 明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ラベンダー あなたを待っています

【Nコード】

N0433G

【作者名】

鈴代 明

【あらすじ】

「先輩、まだかな…」広い部屋は1人でいるととても寂しい…。静かな部屋に響くのは刻々と過ぎる秒針の音だけ

「先輩、まだかな…」

広い部屋は1人でいると

とても寂しい・・・

静かな部屋に響くのは

刻々と過ぎる秒針の音だけ

「大学・・・大変なんだろうな」

赤いリボンのついた

大事な鍵を握り締めて

外が赤く染まるのを見つめてた

コップに入ったミルクティーも

すっかり空っぽだった

「先輩…退屈だよ」

頬をテーブルに預けると

紫色の花が視界に触れた

「奇麗…」ラベンダー

唯一先輩の部屋に

置かれているお花

辺りはすっかり

薄暗くなってしまった

「先輩遅いね…」

ラベンダーの香りが

奈々（ナナ）の鼻をくすぐる

花の香りに奈々の瞼が

ゆっくりと閉じていった

しばらくして時計の音とともに

規則正しい寝息が聞こえてきた

ガチャ

「ただいま…奈々？」

外が暗くなってから

彼は帰ってきた

「奈々？…寝てるのか」テーブルに突っ伏して

寝ている奈々に

微かに頬を緩ませた

規則正しい吐息が静かに響く

「…ごめんな」

奈々の隣に静かに座る

「ん…せん…ぱい」

「奈々？」

「……」

瞳は閉じたままで

また寝息が聞こえてきた

「寝言か…」

「俺の夢見てんの？」

奈々の寝顔に自然と顔が綻ぶ

「ゆう…きさん」

「…！」

「おかえり…なさ…い」

奈々から寝言が紡がれる

「…それ反則」祐樹は自分の頬が

染まっっていくのを感じながら

奈々の髪を掻き上げると

白い頬にそつとキスをした

「んん…？」

もぞもぞと動く奈々を見つめた

「…先・輩？」

眠い目を擦ると

祐樹の姿が瞳に映った

「あ・・おかえりなさい」

寝ぼけ眼のまマナコま

小さく笑った

「ただいま」

ニツコリ笑って両手を広げると

奈々が奇麗に腕におさまった

祐樹の胸に顔を埋め

ぐりぐりと顔を押し付ける

「奈々？」呼びかけても反応しない奈々に
困ったように笑った

「・・寂しかったの？」

そう尋ねると

奈々は少し顔を離れた

「…ずっと待ってたんだよ」

「うん、ごめんな」

祐樹は髪を優しく指に絡ませた

「私も・・この花も」

そう言って指差したのは

テーブルの上にたたずむ

ラベンダー

「ああそうだな・・ごめんな」

頭を撫でると小さく頷いた

「さっきなんの夢見てたの？」

「え？さあ・・覚えてないよ」奈々は小首を傾げた

「寝言…」

俺に直接言っしてほしいな」

「私！な、何て言っただの？！」

「俺のこと

ゆうきさんって言ってた」

「あ……」

その言葉を耳にした奈々は
みるみるうちに

赤く染まっていった

「ねえ言ってほしいな」

「・・・い、言えない」

腕に収まったままの奈々が
ぶるぶると首を振る

「夢の中の俺には言うのに？」

顔を覗き込む祐樹に

奈々は息を飲んだ

「ゆ、祐樹・・・さん……？」「……なあに奈々？」

胸が苦しくなった

祐樹さんがとても……

穏やかな顔をしてたから

真っ赤な顔を両手で隠すと

祐樹さんが抱きしめてくれた

「（帰ってきてくれた）

おかえり……

おかえりなさい、祐樹さん」

存在を確かめるように

背中に腕を回す

「ただいま奈々」

ふわりと淡く触れた唇は

とても優しく……

「またミルクティー飲んでたな」

「甘いでしょ」ラベンダーの香りが漂うなかで

二人は笑いあった

あなたを待っています

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0433g/>

ラベンダー あなたを待っています

2010年12月17日15時23分発行